

IDNo.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
706	310・311	H12. 2～3	所 莊 吉	「小銃製式」にみる洋式銃の製作法	01～24	
707	310・311	H12. 2～3	峯 田 元 治	青銅砲「明治天皇駐蹕之跡」の碑 増田重益 作	25～41	
708	312	H12. 4	岩 淵 誠 一	東京砲兵工廠 小銃製造所のフライス盤	01～54	
709	313	H12. 5	霜 礼次郎	幕末の反射炉による鑄造砲の問題点とその技術的対応について(その2)・佐賀藩における鉄製鑄造砲の問題点と対応	01～33	
710	314	H12. 7	安 田 修	-史料紹介- 尾張藩砲術中傳流について	01～40	
711	315	H12. 9	山 田 太 郎	艦載砲にみる度量衡の変遷	01～19	
712	316	H12. 10	寺 西 英 之	四五口径三年式四〇糶砲	01～14	
713	317	H12. 11	北 村 陽 子	村田大佐と横浜居留地のライフル大会	01～24	
714	317	H12. 11	訃 報	所 壯吉 理事長追悼号	25～38	
715	318	H12. 12	梶 輝 行	土佐藩の海防政策とヨーロッパ軍事技術導入の諸相 — 高島流砲術家・徳弘孝蔵を中心に —	01～18	赤羽 重道 氏 追悼号
716	319	H13. 2	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは? 世界のスナップ・マッチロックを訪ねて(その一)	01～28	
717	319	H13. 2	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第一回	29～54	
718	320	H13. 3	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その二) オーストリア・グラーツ武器庫の スナップ・マッチロックを訪ねて	01～10	
719	320	H13. 3	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第二回	11～35	
720	321	H13. 4	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その三)史料からみた世界のスナップ・マッチロック	01～12	
721	321	H13. 4	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第三回	13～38	
722	322	H13. 5	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第四回	01～44	
723	322	H13. 5	有 坂 鋁 蔵	史料紹介(昭和11年) 鉄砲伝来に就いて	45～54	
724	323	H13. 6	峯 田 元 治	ある鑄鉄製大砲の解析	01～27	
725	324	H13. 7	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その四)興味あるロンドン塔のスナップ・マッチロック	01～27	
726	324	H13. 7	生 田 豊太郎	史料紹介 ボルトガルよりの寄贈銃の観察記録	28～48	
727	325	H13. 9	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その五) イタリアルネッサンス期にみるダ・ヴィンチの機械の解剖学 -特に「ねじとばね」について-	01～08	
728	325	H13. 9	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第五回	09～31	
729	326	H13. 10	安 田 修	史料紹介 筒元上面に見られる稲富一夢田付宗鉄の花押について	01～33	
730	326	H13. 10	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第六回	34～49	
731	327	H13. 11	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その六)	01～23	
732	327	H13. 11	粕 谷 利 一	庄内藩塩硝蔵・合薬所の系譜	24～65	著者より追加資料有 新聞コピー8枚 手持ち資料3枚
733	328	H13. 12	安 田 修	四斤野(山)砲信管の鑄型について	01～07	
734	328	H13. 12	峯 田 元 治	うどん張りの一例	08～18	
735	329	H14. 2	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツは?(その七)	01～21	
736	329	H14. 2	島 津 兼 治	日本火術探囊 徳永系図に依る伝来試考第七回	22～51	